2024年第25週の報告です。

手足口病は今週も増加を続けています。全国での定点当り報告数も6.31に増え警報レベルになりました。京都府全体でも24週の6.7から8.05に増加、府内の保健所別では前週の警報レベルの保健所でそのまま警報レベルが継続しています。

その他の疾患は、**咽頭結膜熱**が乙訓と山城南で、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**が京都市右京区でそれぞれ警報レベルが継続、**急性出血性結膜炎**が南丹で新たに警報レベルになりました。**水痘**は京都府西京区と南丹で注意報レベルです。

全数報告対象の感染症は、**結核**が11件、**腸管出血性大腸菌感染症**が1件、**レジオネラ症**が2件報告されました。**アメーバ赤痢・クロイツフェルト・ヤコブ病**と**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**が各1件、**梅毒**が2件報告されました。また、基幹定点から**マイコプラズマ肺炎**が4件報告されました。眼科定点から**急性出血性結膜炎**と**流行性角結膜炎**が各1件報告されました。

手足口病の感染拡大が続いています。以前罹った型と異なるウイルスに感染すると、大人も子供も何度も罹ることがあるため引き続き注意をしてください。流水と石けんで十分に手を洗ってください。排泄物は適切に処理してください。

また、今週は他にも様々な感染症が報告されました。

クロイツフェルト・ヤコブ病は古典型・孤発性の報告です。このタイプは一般に空気感染や経口感染はないとされています。

アメーバ赤痢は大腸に寄生する赤痢アメーバと呼ばれる原虫の感染による疾患です。栄養型と嚢子型の2形態を持ち、外部環境に強い嚢子型を摂取することで感染します。海外などで汚染された飲食物を摂取することや性行為が感染原因で、典型的な症状は粘血便やテネスムス（しぶり腹）、腹痛です。まれに肝膿瘍や脳・肺・皮膚などの腸管外に合併症を引き起こします。感染地域では、生水や生野菜、生魚介類、カットフルーツなどから感染することが多いため、渡航の際には注意が必要です